

平成30年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
基本施策名	方針2 広報・広聴の充実

	所属	職名	氏名
作成者	秘書広報課	課長	渡辺 守
評価者	政策部	部長	上條 芳敬

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	市の広報紙「広報あづみの」の定期的な発行、ホームページ及びTwitterの運用、コミュニティFMによる広報番組の放送など、市政の情報発信に努めています。アンケート調査によると、市政に関する情報が入手しやすいと感じている市民の割合は32.1%、市政に関する情報を入手している市民の割合は30.9%とやや低い水準にあります。市民ニーズの把握に努め、効果的かつ効率的に情報発信を行うことが求められています。また、広聴に関しては、市民の提案や要望などを市政に反映させるため、市政懇談会(ふれあいミーティング)を2回開催しました。
基本方針 (目指すべき方向性)	市民ニーズを踏まえた情報発信を効果的かつ効率的に行い、市民の要望を市政に反映するために広聴機能を充実させます。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H28	H29	H30	達成率	進捗状況	所管課
市のホームページへのアクセス件数	件	476,222	607,230			429,248	70.6	停滞	秘書広報課
市政懇談会参加者数	人	567	790			63	8	停滞	秘書広報課

施策指標の進捗状況と分析	ホームページのアクセス件数が減少傾向にありますが、これは市の観光情報を安曇野市観光協会のホームページへ集約している影響が大きいものと考えられます。加えて、市ではホームページ以外にも新たな情報発信手段として、スマホアプリ「マチイロ」(安曇野市の登録者約1000人)や、Twitter(フォロワー数約2000人)の活用を進めたため、ホームページへのアクセス件数は通減傾向にあるものの、市民等への情報提供自体が著しく低くなったとは言えない状況です。 平成30年度の市政懇談会は「ふれあいミーティング」として開催し、移住・定住にテーマを絞ったり、高校生との意見交換会とするなど新たな試みで実施しました。
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位:円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況					重点化	
				H28	H29	H30	H31	R 2	合計	事業区分	新/継	終期	方向性		正規職員数
1	0102155	広報発行事業	秘書広報担当	33,125,254	32,015,402	34,265,402			99,406,058	定型業務	継続	期限なし	事業の進め方の改善が必要	2.4	
2	0102160	インターネット広報事業	秘書広報担当	6,770,736	6,770,736	6,770,736	6,771,000	6,804,000	33,887,208	定型業務	継続	期限なし	事業効果を高めるための方策を検討	0.9	○
3	0102165	広報ラジオ番組放送事業	秘書広報担当	8,424,000	9,020,160	9,020,160	9,024,000	9,156,000	44,644,320	定型業務	継続	期限なし	事業の抜本的な見直しが必要	0.2	○
合計				48,319,990	47,806,298	50,056,298	15,795,000	15,960,000	177,937,586						

事務事業量とコスト(費用対効果)の分析	広報紙の全戸配布は運送会社ではなく新聞販売店に委託するなどコスト的に効果的な方法で実施しています。また、ホームページには広告枠を設けるなど、費用対効果を意識した事業実施に努めています。
重点化事務事業の考え方	ICTの進展に対応し、インターネット上での情報発信を積極的に推進する必要があるため。また、ラジオ放送は市民に安曇野の価値を伝える有効な手段として期待できるため。
縮減・廃止事務事業の考え方	各事業の内容は随時見直しを行いますが、市政情報を的確に伝えるために必要な事業であることから、縮減・廃止する事業項目はありません。
総合評価(次年度へ向けた課題の抽出含)	広報紙は、市政情報を迅速にわかりやすく伝えるため、市からのお知らせのほか特集記事を掲載し、より親しみやすい紙面づくりを心がけ年21回発行しました。また、ホームページは必要な情報を随時更新しています。今後、ますます広報に対するニーズが高まると見込まれることから、効果的、効率的に情報発信が行えるよう、事業の内容の見直しを進めます。 また、広聴については、参加しやすい環境づくりに努め、多くの市民参加を促します。